



Do It Yourself サマーキャンプ2022 in いいづな

有限会社ノア STEAM教育研究所

サマーキャンプの趣旨とねらい

ICTを活かした自然体験のできるサマーキャンプ

これから子どもたちが迎える未来は、身の回りのさまざまなものがデータ化され、そのデータ（ビッグデータ）を活用して、『経済発展・生活利便性の向上』と『社会的課題の解決』を両立する社会（Society5.0）だと言われています。そこではバーチャル（仮想）とフィジカル（現実）が高度に融合し、人々は一層デジタルやバーチャルな世界への依存を高めていくこととなりますが、それらとの繋がりが強まれば強まるほど、自然との関わり、他者との関わり、実社会との関わり的重要性は増していきます。

自然とデジタルは一見対極にあるようでいて実は親和性が高く、自然の中での体験や学びは、デジタルによってより実感を持って、より深い学びへと導くことができます。

今回のサマーキャンプは、自然の中でのさまざまなアクティビティを楽しみながらも、各ミッションを自分たちの力でクリアしていく中で、たくさんのワクワクと発見をデジタルテクノロジーを介して学びに繋げていくことを目的に開催いたしました。

有限会社ノア STEAM教育研究所

参加募集と参加者の決定

近隣小中学校10校にチラシを配布

サマーキャンプの開催にあたり、長野市教育委員会の後援をいただきました。

参加者の募集は、WEB広告、自社WEBサイト、SNS等による告知のほか、長野市内小学校6校（南部、古牧、芹田、鍋屋田、緑ヶ丘、大豆島）、中学校4校（櫻ヶ岡、柳町、三陽、犀陵）にチラシの配布をお願いし、募集人員12名に対し64名の応募がありました。この中から学年、性別のバランスを考慮して抽選を行い、参加者12名を決定しました。



有限会社ノア STEAM教育研究所

事前説明会の実施

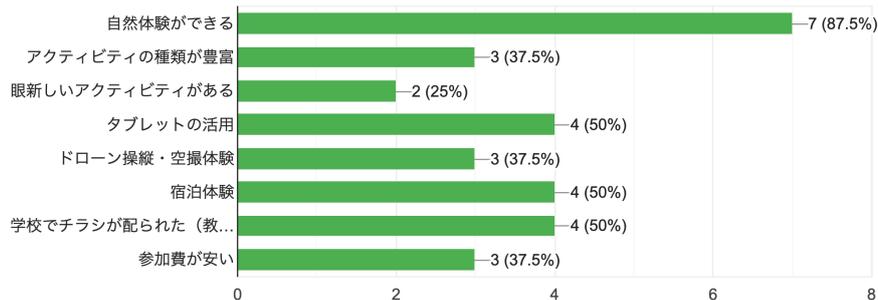
全参加者、保護者同伴による事前説明会

サマーキャンプの目的と概要、当日のスケジュール、持ち物と注意事項などの説明をいたしましたが、特に自然体験の中でタブレットをどのように活用するのかについてや、ほかでは体験することの少ないアクティビティについての説明には、参加者・保護者とも高い関心を寄せていました。

Do It Yourself

サマーキャンプにお申し込みいただいた際にポイントとなった点は？（複数回答可）

8件の回答



有限会社ノア STEAM教育研究所

事前説明会の実施

事前説明会のねらい

この説明会では、サマーキャンプの概要をイメージしてもらうとともに、参加者同士の顔合わせ、また主催者が参加者の特性（積極性、理解度、協調性、リーダーシップなど）を掴むという側面もあります。参加者一人ひとりに声掛けし、キャンプの経験の有無や楽しみにしていること、心配なことな積極的な対話を図りました。

さらに、参加者の主体的な学び、自由な自己表現もこのサマーキャンプの目的のひとつであることから、各自自由な発想でゼッケンを制作する課題を出したところ、帰宅後すぐに制作に没頭していたと保護者から報告がありました。好きなイラストを描き込んだり、たくさんの色を使ったカラフルな文字を使ったり、それぞれが思い思いの表現で作成されたゼッケンには、子どもたちの豊かな創造性を垣間見ることができました。

また、保護者とのコミュニケーションにもデジタルツールを活用し、キャンプのスケジュールやチェックリストなどをネットからダウンロードできるようにしたほか、キャンプ当日の子どもたちの様子を、SNSの鍵付きアカウントで動画配信するなど、リアルタイムでの情報・体験の共有を図り、好評をいただきました。

有限会社ノア STEAM教育研究所

キャンプでの様子

スケジュール

1日目	2日目	3日目
オリエンテーション	起床	起床
魚掴み取り	朝食作り（焼き魚・目玉焼き）	朝食作り（おにぎらず）
夏野菜収穫	ドローン空撮・操縦体験	自由時間
昼食作り（冷やし中華）	ピザづくり・昼食	後片付け・帰り準備
昆虫採集・自然観察	立木伐採体験 （立木の高さを予想） （伐採見学）	終了式・記念撮影
竹串作り・火おこし体験	夕食準備・BBQ	
夕食作り・夕食 （釜戸炊きごはんとかレー）	入浴	
入浴	花火大会	
自由時間	就寝	
就寝		



有限会社ノア STEAM教育研究所

キャンプでの様子

自然体験

魚の掴み取り、火おこし、竹林からの竹の切り出しと竹串作り、立木伐採など、初体験者が多かったのですが、失敗や成功を繰り返しながら歓声を上げて楽しんでいました。のちの振り返りから、感情の高ぶりや発見が多くあったことが見受けられ、思い出とともに子どもたちの中に残ると思います。



有限会社ノア STEAM教育研究所

キャンプでの様子

タブレットの活用

今回のサマーキャンプは自然体験の中でタブレットを活かす内容になっておりましたが、アクティビティの記録に写真や動画を積極的に活用する姿、昆虫採集で捕まえた虫や野草の写真を撮り、気がついたことをその写真に書き込む様子などが随所に見られました。



有限会社ノア STEAM教育研究所

キャンプでの様子

立木伐採体験

立木伐採はそれ自体を体験するほか、伐採前の木の高さを推測する課題で、計測アプリを使ったり、比較対象物を設定して推測したり、各チームが工夫を凝らしながら予想していましたが、伐採する木こりさんに昔から受け継がれてきた高さの測り方のお話をお聞きでき、それをもとに水平器アプリと歩測を使って推測し、誤差40cmの近似値を算出したチームもありました。実際に木が倒れる迫力、倒したばかりの木で作るトーチなど、新たに体験・知ることも多くありました。



有限会社ノア STEAM教育研究所

キャンプでの様子

ドローン空撮・操縦体験

青い空と緑の山々、そして大きな池のある最高のロケーションで、豊かな自然を空から眺めるドローン空撮体験に、参加した子どもたちは大興奮でした。

そして小型のトイドローンを実際に操作する操縦体験では、離着陸や前進・後退・旋回などを器用にこなし、操作する楽しさを満喫しているようでした。

ドローン体験は参加者の満足度が高く、その後のドローンプログラミングへの意識の高まりが期待できます。



有限会社ノア STEAM教育研究所